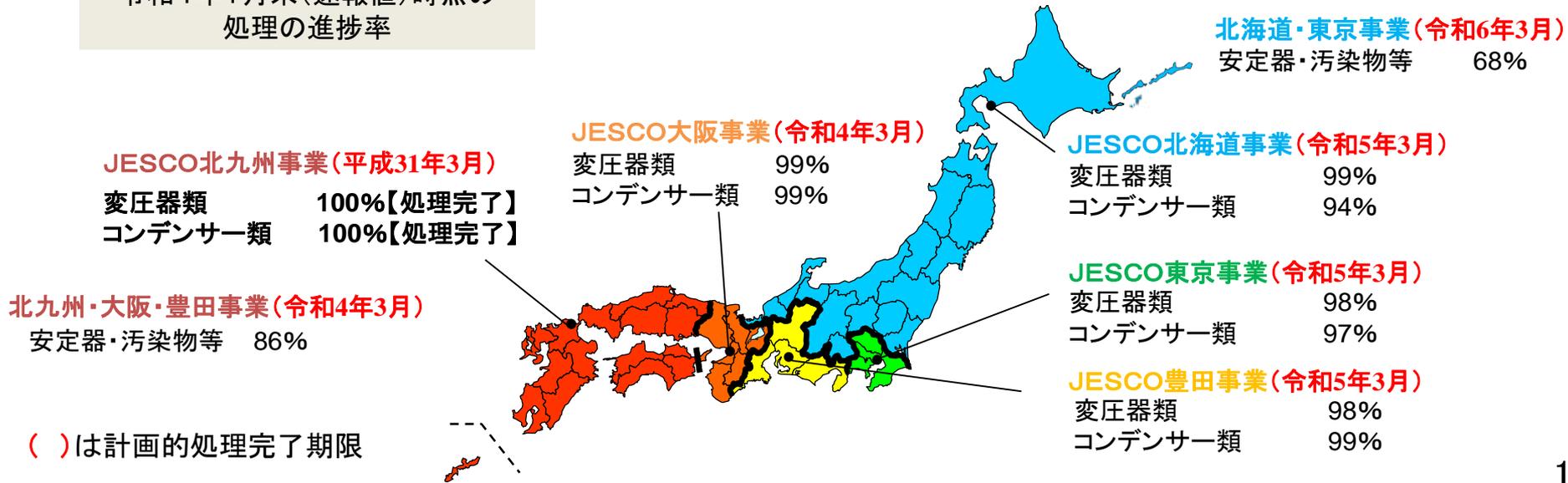


- JESCOには、令和4年1月末(速報値)時点で、変圧器 約1.61万台、コンデンサー 約37.5万台の計約39.1万台が、処理対象として登録等されており、このうち変圧器 約1.59万台、コンデンサー 約36.8万台の計約38.4万台を処理した。
登録台数に対する処理の進捗率(全国平均)は、変圧器約99%、コンデンサー約98%である。
- 安定器・汚染物等については、約2.2万トンが登録されており、このうち約1.7万トンを処理した。
処理の進捗率(全国平均)は約76%である。



令和4年1月末(速報値)時点の処理の進捗率



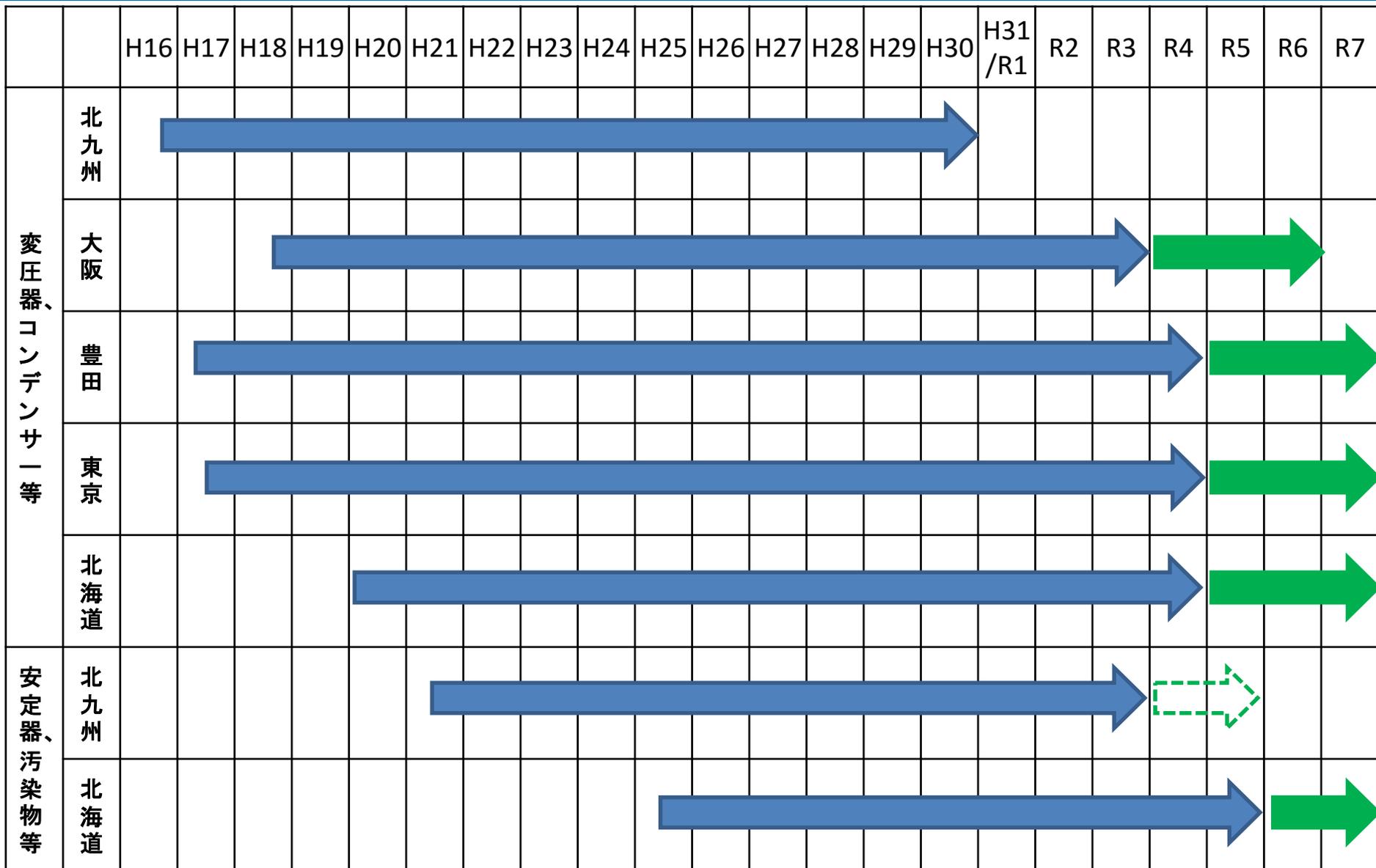
(参考)5事業地域それぞれの処理対象量の増分と処理の見通し

	事業エリア	処理対象量			今後の掘り起こし見込み量	R3年度以降の処理対象量	処理完了見込み ^{※1}	計画的処理完了期限	事業終了準備期間末
		H27.1時点(ア)	R3.7時点(イ)	増加率(イ)/(ア)					
安定器・汚染物等	北九州(2期)	5,900t	10,575t	1.8	350t	2,794t	R5年度末	R3年度末	R5年度末
	北海道(増設)	6,400t	11,723t	1.8	800t	4,729t	R7年度末	R5年度末	R7年度末
	合計	12,300t	22,299t	—	—	—	—	—	—

変圧器・コンデンサー等	北九州(1期)	55,661台	61,751台	1.1	—	—	—	H30年度末	—
	大阪	73,006台	86,762台	1.2	374台	3,321台	R5年度末	R3年度末	R6年度末
	豊田	55,115台	77,554台	1.4	218台	2,206台	R5年度末	R4年度末	R7年度末
	東京	82,973台	87,207台	1.1	371台	8,574台	R5年度末	R4年度末	R7年度末
	北海道(当初)	60,734台	73,383台	1.2	1,063台	6,318台	R6年度末	R4年度末	R7年度末
	合計	327,489台	386,657台	—	—	—	—	—	—

※1 処理完了見込みは、計画的処理完了期限後に新規発見されるコンデンサー等の処理に備えた期間を含む。

(参考)処理スケジュール



 計画的処理完了期限
  事業終了準備期間

※最上横列は年度を示す。

※計画的処理完了期限の1年前を処分期間と定義。処分期間までにJESCOと処分契約を締結することを義務付け。

①安定器・汚染物等

- 北九州事業所における安定器等について、令和5年度まで2年間、処理を継続。
- 北海道事業所についても、事業終了準備期間も処理を行い、令和7年度まで処理を継続。

②変圧器・コンデンサー等

- 新規発覚に対応するとともに、行政代執行の日程を考慮するため、事業終了準備期間も処理を行い、少なくとも令和5年度までは処理を継続。
- 北九州事業エリアで新規発見されたコンデンサー等の継続保管案件については、令和4年度、5年度に大阪事業所と豊田事業所で広域処理を実施。

 令和3年9月22日に、立地自治体に対して、環境大臣名で要請。